＜全体集会発言＞　　栃木非正規ネット　五戸豊弘さん

どうも、こんにちは。栃木から来ました、「非正規雇用労組ネット栃木」の五戸（ごのへ）と申します。実は私、ネットの話をする前に、JMIUいすゞ自動車の栃木で、いすゞ相手と、また派遣元でありますプレミアラインに対して、今年の１月から地位保全と、賃金の仮払いの裁判を起こしまして、ようやく今年の４月28日に仮処分の決定を行いました。それと新聞とかで当然知っているかと思いますけれども、いすゞ自動車の期間社員が、これも５月12日に仮処分の決定が行われました。これは非正規で、こういうふうに首を切られた方に関しては、すごい大きな一歩だと思っております。その内容もこちらの方の17ページと18ページの方に多少書いてありますので、後で読んでいただければと思います。

　それでは非正規ネットの栃木の方の話をさせていただきます。要は非正規ネットというのは、栃木県にもやはり自動車会社、また大手などの電気会社の工場がたくさんあります。それで、昨年の12月末から、やはり同じように派遣切りや雇い止めなど、どんどんそういうふうなことが出てきております。それで私どもは同じようにこういう組合の活動をしながら、例えばいすゞを始め、ホンダやキヤノン、また栃木県では小山市民病院の准看護婦の助手も全員集まりまして、もうこういう派遣切りとか中途解雇をなくそうということで、ネット栃木というのを作りました。

　それで、趣旨としては、やはりこのようなリストラを食い止めるということで、皆さん全員集まって、市の方とか、国の方、県の方に「こういうリストラをもうやめてくれ」ということで、いろいろお願いに走っています。

　それと同時に、どうしても各組合で個々にやっていても、いろんな活動なんかもそうなんですけども、なかなか結果というのは出てきませんので、いすゞ、キヤノン、ホンダとかの組合員が一同に集まりまして、勉強会をやろうじゃないかということで、「わいわいネット塾」というのも、３月23日に結成しました。これは、先ほども言ってますけれども、いろんな栃木県でもいままで結成している組合の方々の、いろんな経験や意見を勉強して、それが今後の活動に対しても非常に役に立つんじゃないかということで、いろんな労働組合の先輩の方々や、または大学の先生などを交えまして、勉強会を開いております。

　それでどうしても栃木県の場合は、ほとんどがいま裁判なんです。裁判をやりますと、非常に生活面での資金的な問題というのが大きくなる、ネックになりますので、同じように３月23日に、そのネットを支える会というのも、また立ち上げました。やはりこういった裁判をやっていますと、時間もお金もかかります。いすゞの期間工の裁判も、５カ月間で７回審尋があります。自分の場合も80日間で８回裁判があります。そういった交通費の面でも、１人ではなかなか支払うことできませんので、県内の著名人の方々とか、またはこういった非正規の首切りしたい、準大手の会社の経営者の方なんかにも相談しまして、ぜひそういったたたかいを支えるということで、カンパをお願いして、いまやっているんですけれども。

　なかなか皆さん、自分もそうなんですけれども、こういう組合活動というのが、どういうものなのかというのを、はっきりわからないような状態で、いま試行錯誤しながらやっていますけれども。何とかこういう活動が、栃木県を先頭に全国あちこちで同じように裁判とか、いろんな団体交渉とかやっていますので、そちらの方を助けるためにも、ぜひとも、こういうネットをやっているんだということを皆さんに認識してもらって、今後に役立ててくれればと思い、ネットというものを立ち上げました。

　まだ、２カ月弱なんで、目標はあるんですけれども、その間のプロセスがなかなかはっきりと決まらなくて、いろいろやってはいるんですけども、なかなかまだ成果がちょっと出ておりませんので、この場を借りまして、また皆さん方のご指導とかがあれば、時間も終わりますので、その辺はよろしくお願いします。以上です。（拍手）